

改正空家特措法を踏まえた 今後の空き家対策は

今後も空き家等の発生抑制や適正管理の周知、利活用の促進を図り、所有者等に対する措置も検討していきたい



辻 史子

公明党田原市議団



自転車の正しい利用法とヘルメット 着用努力義務について

問 自転車の正しい利用法について、市民に対しての啓発の取り組みは。

答 児童生徒に対しては、交通指導員を派遣した交通安全教室や自転車教室の開催、高齢者に対しては、高齢者自転車大会を実施するなど、普及啓発を行っている。

問 渥美半島にサイクリングに訪れる方が増えているように思うが、サイクリストのタイヤがパンクするなど突然のトラブルが発生した場合の対処方法は。

答 公共施設7施設や渥美半島サイクルサポーター制度認定事業所には、サイクルラックが設置され、自転車修理キットなどを利用できる。



問 改正道路交通法の施行により、本年4月1日から自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務となったが、どのように周知啓発していくのか。

答 これまでの普及啓発に加え、特に高校生や一般の大人に対し、自転車事故の恐ろしさや命の大切さを呼びかけるとともに、SNSなどのツールを活用しながら周知啓発に努める。

空き家対策について

問 放置すれば特定空家等になる恐れがある空き家を管理不全空家等と位置づけ、市町村長が指導・勧告できることなどの内容を盛り込んだ改正空家措置法を踏まえ、今後どのような空き家対策を行うのか。

答 今後も空き家等の発生抑制や適正管理の周知、利活用の促進を図るとともに、所有者等に対する措置についても国の示す基準等を踏まえ、本市の実態に合わせた制度の活用について積極的に検討していきたい。

田原市学校教育振興計画の取組について

問 市内小中学校におけるコミュニティスクールと地域学校協働活動の現状と評価は。

答 令和元年度に福江中学校がコミュニティスクールとなっており、設置校の拡大が進んでいる。また、福江中学校をはじめ4校区は地域学校協働本部を設置し、地域住民や団体等のネットワークをつくりながら活動を進めている。

問 地域と学校を結びつける役割を果たす地域コーディネーターの活用について、市の考えは。

答 全中学校へ地域コーディネーターの配置を進めるとともに、各学校に配置された地域コーディネーターの活動や、学校と地域間との連携を支援する統括コーディネーターの配置等も検討し、地域コーディネーターの有効活用を進めていきたい。



真野 尚功

自由民主党田原市議団



地域コーディネーターの活用について市の考えは
統括コーディネーターの配置等を検討し、地域コーディネーターの有効活用を進めていきたい